

岐阜城周辺の城壁の大部分は崩れているが、残され城壁からかつての外観が想像できる。岐阜城の全ての石垣同様、この石壁は完全に石の自重で結ばれており、乾式石造の石垣はモルタルを使用せず、石どうしが絡み合うように積み重ねることによって建てられている。この壁は城への道を作るために地面の凸凹を平らにするのに役立っている。

城内の井戸は、敵による長期の攻撃で飲み水の水源が遮断される可能性がある城内では特に重要であった。